



日本共産党 品川区議会議員 区政報告 のだて 稔史

事務所：品川区豊町6-2-1 Tel：03-3786-6674
区議控室：品川区広町2-1-36 Tel：03-5742-6818

区政報告について
ご意見、ご要望を
お寄せください。

柔軟で手厚い学校教育へ

少人数学級の実現を



コロナ禍の下、不安を抱える子どもたちのケア、きめ細やかな学びを保障するために小中学校の少人数学級を求める声が続いています。

広がる実現を求める声

来年度からの少人数学級実施を求めた共産党、畑野衆院議員の質問に文科大臣は「不退転の決意で望む。勇気をもたらした」と応じました。

コロナの感染拡大で突然の一斉休校、再開後も運動会など行事の中止、授業の詰め込みなど子どもへの負担は増すばかりです。

学校再開後の分散登校により実質的に少人数学級を体験した教員は「一人ひとりの子がわかってきているのかどうかよく見ることができた」など少人数学級の良さを実感しました。こうした状況の下でコロナ対策のため距離を取ることや柔軟で手厚い教育の実施へ少人数学級を求める声が続いています。

教育研究者の有志が呼びかけた少人数学級を求める署名は現在、全国で18万人を超えており、これは切実さの表れです。

全国市長会や全国都市教育長協議会なども少人数学級の実現を求め、議会でも中野区や豊島区を含め53の地方議会が少人数学級を求める意見書が採択されました。

共産党区議団も区にコロナ対策として緊急要望（裏面参照）を行い、少人数学級の実現などを求めました。

こうした幅広い世論と運動が広がり、文科省も義務教育標準法の改正も視野に来年度予算概要要求に盛り込みました。ウラへ続く



のだて稔史プロフィール

1985年品川区生まれ、35歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所で6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。シブリ映画、バドミントン、テニスが好き。

区「現行の体制で」

品川区は独自に休校明けに「今年度中の年間指導計画は、今年度中に終え、授業・めあてを達成するように」「標準時間数にできる限り近づける」との方針を出し、現場を追い込みました。

可能となった7時間授業は学校によっては小学2年生から実施され、再開後すぐに授業を潰してまで学力テストを実施するなど、区は子どもたちへの負担を考えていません。

共産党は9月の区議会で、子どもたちの心のケアや手厚い教育、三密を避けるためにも少人数学級の実現を区としても国に求めるべき、と質問しました。

区は「現行の体制で十分取り組んでいく」と答弁。前向きではありません。

現場も少人数学級の良さを実

感じ、全国市長会、校長会も求め、大臣も前向きであるにもかかわらず、区の姿勢はあまりに情けないものです。

子どもにも豊かな学びを

手厚く柔軟な教育環境を整えるためにも、教室の三密を避け感染から子どもを守るためにも、今こそ少人数学級の実現が望まれています。

教員の多忙化解消にも有効です。国の実態調査で学級人数が多いほど長時間労働になっている実態が明らかになりました。教員の力が発揮できる条件整備が必要です。

少人数学級の実現で子どもたちにも豊かな学びを保障しましょう。



区議団の区への緊急要望（抜粋）

- 学校における三密を避けるため、区独自に少人数学級を実施すること。次の感染拡大の波に備え、オンライン学習の環境整備を合わせて進めること。
- 授業をつめこむのではなく、学年で核となる学習事項を見定めて深く教える「学習内容の精選」を行うこと。
- 子どもに過重な負担となる、小学2年生から行われている7時間授業の実施は止めること。
- 国基準を上回る区独自の標準授業時数について、少なくとも今年度は止めること。
- 子どもたちの心のケアのため、スクールカウンセラーやソーシャルワーカーを増員し、対応すること。
- 新型コロナ感染予防のために行う、教室の机やイス、ドアや階段手すり、各教室の物品や各種施設の消毒は、教員の負担とするのではなく新たに職員を配置すること。

無料

法律相談

12月8日(火) 午後6時～8時

会場：のだて稔史事務所 豊町6-2-1

お気軽にご相談下さい。弁護士と一緒に話を伺います。
できるだけ事前にご連絡下さい。TEL 3786-6674
場所が元に戻りましたので間違えないようご注意ください。

日本共産党